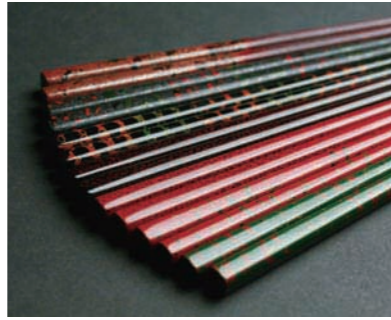


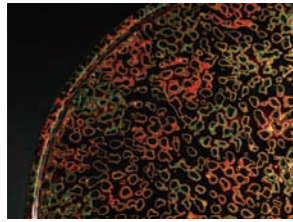
## 津軽塗 ~映画のメインテーマに迫る~

津軽塗という言葉が生まれたのは明治6年(1873年)、ウィーン万国博覧会に漆器を展示することとなった際、その産地を明らかにするため名付けられたことからと言われています。津軽地方における漆器産業としての伝統はさらに古く、江戸時代中期にさかのぼることができます。江戸は元禄年間、津軽の殿様は塗師(ぬし)を召し換え、藩内で栽培する漆で塗りを施した武器や装身具、調度品などを重用しました。技法としては「研ぎ出し変わり塗り」といわれ、幾重にも塗り重ねた漆を平滑に研ぎ出して模様を表します。塗りと研ぎ、この工程を数十回繰り返し、一つの製品が出来上がるまで2か月以上の日数を費やします。職人たちがひたすら繰り返す研ぎ出しの手技は、堅牢にして奥深い美しさを合わせ持つ津軽塗を作り出し、300年の間に津軽の日常に染み込んでいます。



監修・写真/青森県漆器協同組合連合会

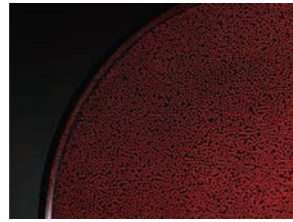
### 代表的な4種類の技法 — 津軽塗は、代表的な4種類の技法をもち、これらを基に作られています。 —



#### 唐塗

【からぬり】

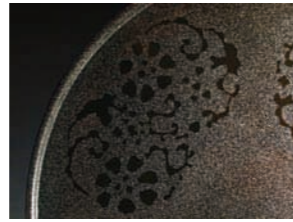
津軽塗の代表格であり、現在最も多く生産されている種類が唐塗です。唐塗独特の複雑な模様は、仕掛けペラという穴の開いたへらを用い、卵白を加えた粘度のある黒漆で斑点模様を付けた上に色漆を塗り重ね、砥石で研ぐ作業を繰り返すことで作られます。全部で48工程を要する唐塗は、完成までに約3ヶ月を要します。



#### 七々子塗

【ななこぬり】

七々子塗は研ぎ出し変わり塗りの技法の一種で、その特徴は、模様をつけるために菜の花の種を蒔き付けることです。菜種による小さな輪紋の集まりが魚の卵を連想させる模様から、「七子」「魚子」「菜々子」「斜子」などの文字が当てられています。



#### 紋紗塗

【もんしゃぬり】

黒漆の模様(多くは線描を主にした総模様)に紗(津軽地方ではもみ殻のことを紗と呼ぶ)の炭粉を蒔き、研ぎ出して磨き仕上げされたものを紋紗塗と呼びます。今日まで明治維新以後の作例は少なく、現在では一般製品としてはあまり見かけられなくなりましたが、紋紗塗は研ぎ出し技法の中で最も独特なもので、津軽塗ならではの塗であると言えます。



#### 錦塗

【にしきぬり】

錦塗は七々子塗の変化の一種で、七々子地に黒漆で桜を唐草風にデザインした唐草や、菱形・稲妻型の紗綾形を描き錦粉を蒔いて錦を想わせるような華やかな技法です。作成のためには非常に手間がかかり、さらに高度な技術を要するため、錦塗を塗り上げられる津軽塗職人はごくわずかしきなく、製品の価値は非常に高いと言えます。

## 津軽の伝統工芸に触れる旅

~弘前市内に点在する津軽塗の店舗を紹介~



### ⑭ galleryCASAICO

- 住所: 弘前市城東中央4-2-11
- 営業時間: 10:00 ~ 17:00
- 定休日: 不定休(要確認)
- TEL: 0172-88-7574



### ⑮ イシオカ工芸

- 住所: 弘前市茂森町82
- 営業時間: 9:00 ~ 17:30
- 定休日: 土・日・祝
- TEL: 0172-34-6222



### ⑯ 津軽藩ねぶた村

- 住所: 弘前市亀甲町61
  - 営業時間: 9:00 ~ 17:00
  - 定休日: 年中無休
  - TEL: 0172-39-1511
- ※津軽塗コーナーの見学には、入場料がかかります。



### ⑰ 与志む良

- 住所: 弘前市代官町106
- 営業時間: 11:00 ~ 15:00
- 定休日: 毎週日曜日
- TEL: 0172-32-6570



### ⑱ 津軽塗 たなか

- 住所: 弘前市土手町24-10
- 営業時間: 10:00 ~ 18:00
- 定休日: 毎週水曜日
- TEL: 0172-33-4649



### ⑲ 津軽塗 小林漆器

- 住所: 弘前市東城北3-3-12
- 営業時間: 9:00 ~ 17:00
- 定休日: 不定休
- TEL: 0172-34-5681



### ⑳ 津軽塗の源兵衛

- 住所: 弘前市大浦町4-3
- 営業時間: 10:00 ~ 17:00
- 定休日: 毎週水曜日
- TEL: 0172-38-3377



物語の足跡を辿る旅のしおり

# 弘前ロケ地マップ

HIROSAKI LOCATION MAP



ひたむきに塗る。  
ひたむきに生きる。

弘前市を舞台に、津軽塗が繋ぐ父娘と家族の物語。

# バカ塗りの娘

堀田真由

坂東龍汰 宮田俊哉

片岡礼子 酒向 芳 松金よね子 篠井英介 ジョナゴールド 王林 鈴木正幸

木野 花 坂本長利

小林 薫

監督: 鶴岡慧子 脚本: 鶴岡慧子/小嶋健作 原作: 高森美由紀「ジヤパン・ダイブシティ」(商業編集センター刊)  
製作: 「バカ塗りの娘」製作委員会(アミューズ/メロ/ハピネット/フロントム・スタジオ/宇成プロジェクト/セレニウム/東宝/東映/青森朝日放送)  
配給: 宣伝: ハピネット/フロントム・スタジオ  
©2023「バカ塗りの娘」製作委員会

2023年  
8月25日  
青森県先行公開

9月1日  
全国公開

映画の詳細は  
こちらをチェック!



【お問い合わせ】弘前フィルムコミッション実行委員会

弘前市下白銀町2-1 (公社)弘前観光コンベンション協会内 TEL.0172-35-3131



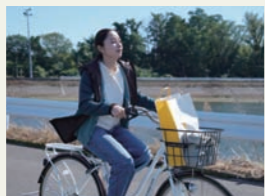


### ① 旧弘前市立三和小学校

美也子の母校。美也子が尚人と語り合う場面や津軽塗を施す場面等、数多くのシーンをこちらの小学校で撮影しました。  
※現在は廃校となっているため、許可なく敷地内に入ることできません。

### ② 砂沢溜池

美也子が自転車で疾走するオープニングタイトルシーンをカメラは移動しながら撮影。通行のご迷惑にならないよう、周辺の道路を一時的に封鎖しながら撮影しました。制作スタッフのひとり曰く、本作でいちばん大規模な撮影だったとのこと。



### ③ 弘前市役所新和出張所

美也子が小学校にあるピアノに津軽塗を施すため、市役所職員に相談するシーンを撮影。出張所の開所時刻である朝8時半までに撮影を終了すべく、早朝に急ピッチで撮影しました。



### ④ サンタハウス弘前

清治が入居する老人ホーム。清治の普段使いの津軽塗に興味を持ったジョナゴールド演じるスタッフ細井の演技にも注目。撮影には実際に働くスタッフの方もエキストラとしてご出演いただきました。



### ⑤ さとちよう浜の町店

日々の生活のため美也子がパート勤めをしていたスーパー。撮影には実際に働く従業員やエキストラの皆さんに早朝からご出演いただきました。約3週間に渡りオール弘前ロケを遂行した本作は2022年9月10日、この場所でクランクインしました。



### ⑥ 松山漆工房

「津軽塗」の主な作業シーンを撮影した工房。津軽塗職人・松山昇司さんが実際に作業場として使用している工房で撮影されました。作業シーンは深夜まで及ぶこともあり、本作を語る上では欠かせない多くのシーンがここで撮影されています。  
※見学希望の場合は事前要確認 アドレス: manumitimirau@icloud.com



### ⑦ 石川町民会館

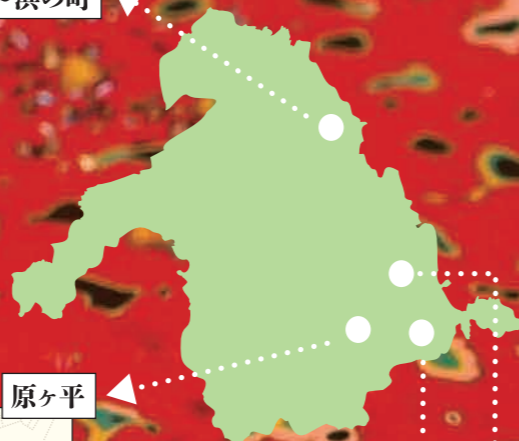
津軽塗職人としてこれからの生き方を思い悩む清史郎とそれを知る由もない職人仲間が集会所で定例会を行うシーンを撮影。多数の石川町会の皆さんに津軽塗職人に扮していただき、厚いご協力の下、撮影されました。



三和～新和～浜の町

## ロケ地マップ LOCATION MAP

オール弘前ロケ映画「バカ塗りの娘」  
2022年、城下町・弘前で撮影した  
19日間の記録を紹介



原ヶ平



石川



土手町～駅前



城東



### ⑧ 弘前市立観光館

津軽塗展示スペースにひとり腰掛け、作品群を見つめる清治。迎えに来た息子・清史郎と孫・美也子に職人としての道を説くシーンを撮影。観光館2Fには津軽塗が常時展示されており、技法等を学ぶことができます。

### ⑨ 石場旅館

「竹村旅館」主人が京都から来た観光客に「バカ塗り」こと「津軽塗」について説明するシーンを座敷で撮影。趣ある老舗旅館と津軽塗が画面に深みを与えます。



### ⑩ 土手町ストリート

老人ホームから抜け出した祖父・清治を美也子が探し、商店街を駆け抜けるシーンを撮影。小雨が降りしきる中、朝の通勤時間前の限られた時間で土手町を一部通行止めにして撮影しました。



### ⑪ あべフローリスト

美也子が憧れを抱く尚人が働く花屋さん。9月の撮影にも関わらず、設定が冬のシーンがあり、残暑の残る店内外は少しの間、クリスマス仕様となりました。



### ⑫ ヒロコ

再会した母娘、美也子と多美子が対話する緊迫したシーンを撮影。撮影は営業終了後から深夜まで及び、「母娘の対話」は静まり返った店内に深く響き渡っていました。



### ⑬ 旧弘前偕行社

美也子と清史郎が大量の引き出物(津軽塗刷)を届ける結婚式場。多くの俳優陣が登場したこのシーンは、明治40年に建てられた国の重要文化財・旧弘前偕行社で行われました。



### ⑭ galleryCASAICO

津軽塗職人として生きていくと決心した美也子が大きなチャレンジをするため、津軽塗の若手職人が集まるギャラリーを訪れるシーンを撮影。堀田真由さんは実際にこちらで津軽塗のお箸を購入しており、おすすめスポットのひとつと仰っていました。



## 撮休弘前旅 ～出演者が惚れた弘前イチオシスポット～

### 弘前れんが倉庫美術館

美也子を演じる堀田真由さんは撮休の日に弘前れんが倉庫美術館を訪れ展覧会と奈良美智さんの作品《A to Z Memorial Dog》を鑑賞しました。



●住所: 弘前市吉野町2-1  
●開館時間: 9:00 ~ 17:00  
●休館日: 火曜日(祝日の場合は翌日に振替)、年末年始  
●TEL: 0172-32-8950



煉瓦倉庫の持つ空間性や弘前の歴史を感じられる美術館で、周辺の芝生の広場も開放的で自然を感じました!

### 季節料理 川崎

弘前市の歓楽街で60年以上続く居酒屋「季節料理 川崎」の料理に惚れ込んだのは、清史郎を演じる小林薫さん。撮影期間中こちらに足繁く通い、スタッフの方々と談笑し楽しく飲むこともあれば、一人でしっぼり飲むこともあったそうです。特に絶賛していたメニューが「油揚げのしょうゆ焼き」で、マスターに調理法を教えてくださいと懇願していたとのこと。



●住所: 弘前市新館治町22 ●定休日: 毎週日曜日  
●営業時間: 17:00 ~ 22:00 ●TEL: 0172-32-1697

## 津軽に伝わる味覚の旅 ～作品を支えた「津軽あかつきの会」～



津軽で脈々と受け継がれてきた家庭料理を傳承すべく、20年以上前から弘前市石川地区を中心に活動しているグループ「津軽あかつきの会」。本作では美也子の祖父・清治の法事のシーンで、親戚らに振舞われた料理の監修を務めました。

津軽あかつきの会が丹精込めて作った料理は、どこか懐かしく、人々を優しい気持ちにさせます。料理が登場する映画の終盤には、本作のテーマである「家族の絆」に皆さんも気付かされるのではないのでしょうか。



●住所: 弘前市石川字家岸44-13  
●予約電話: 090-7665-8468  
●営業日時: 木・金・土・日 12:00 ~ 14:00



●人数: 4 ~ 10人(10人以上は近隣施設を利用します)  
●金額: 1,500円/1食